

一般質問

市政全般に関する一般質問は3月1日、4日、5日、6日の計4日間にわたって行われ、14人の議員が質問をしました。

その主なものは次のとおりです。

『一般質問』

一般質問は、提案された議案に対して説明や所見を求め「議案質疑」とは違い、市長等の執行機関が行う行政全般に対し、事務の執行状況や将来における政策方針などについて疑問をただしたり、報告や説明を求めたりするものです。

また、一般質問は定例会でのみ認められるもので、臨時会では行われません。



藤澤議員

空き家対策総合支援事業補助金の活用の考えは

地域活性化に有効活用できる空き家があれば検討したい

【議員】
空家等対策計画の趣旨、策定の背景は。

【市民環境部長】

空家等対策の推進に関する特別措置法が平成26年に制定され、国・県・市町村・所有者等にそれぞれの責務を定め、空き家等対策を総合的に推進していくこととなり、本市では平成28年度に策定した。

【議員】

空き家対策協議会の開催状況は。

【市民環境部長】

平成28年2月に第1回会議を開催し、以降毎年4回開催している。

【議員】

市の空家等対策計画の策定、協議会の設置は、空家等対策特別措置法によるものか。

【市民環境部長】

本市の計画策定、及び協議会設置は法の制定を踏まえたもの。

【議員】

空き家対策総合支援事業という補助金制度があるが、本市の空き家

対策は対象になるのか。
【市民環境部長】
空家対策計画を策定し、空家対策協議会も設置しているので補助対象となる。

【議員】
空き家対策総合支援事業補助金の活用を検討する考えはあるか。

【市民環境部長】

現在は補助金活用の検討はしていないが、地域活性化に有効活用できる空き家があれば検討したい。



他の質問

- ▼次年度構想
- ▼マイキープラット
- ▼フォーム
- ▼マイナンバーカードの普及
- ▼子供たちの安心安全

人口減少の時期こそ 大学等の立地誘導が必要では

立地誘導は難しいが
市内で大学生が活動できる機会をつくっていく



大嶋議員

【議員】

大学等高等教育機関の立地誘導については、第1次筑西市総合計画の基本施策『高等教育機関の立地誘導と連携』の中で、立地誘導を進め、各種専門的な学習の機会を創出することがうたわれているが、第2次総合計画ではこの項目が削除されている。若者が就学のために首都圏に転出し、戻ってこない現状を考えると、大学等高等教育機関があれば若者の流出を防げるし、市外からの転入による若者人口の増加や、市の活性化が期待できる。人口減少の時期だからこそ、他市との差別化を図る一つのアイデアとして、他市になくて若者に魅力ある特色を持った高等教育機関や国家資格取得を目的とした大学、大学院等の設置は、まちづくりが必要と思う。市長はどのように考えるか。

【市長】

大学等高等教育は、優れた人材育成や地域の文化、産業の振興に大きな役割を果たすとともに、若年人口の交流や定住による地域の活性化も期待される。しかし、少子化の進展に伴う学生数の減少から、大学等の立地誘導は、近隣自治体を見ても非常に難しい現状である。今後は、市内で大学生が活動できる機会をつくるなどの方向から進めていきたい。



他の質問

▼長期入院の児童・生徒の学習支援

▼児童虐待に対する学校・教育委員会・児童相談所の連携

▼入管法改正に伴う外国人の増加対策

ほか

児童虐待への取り組みは

早期発見、早期対応が重要である
関係機関と連携を密にし取り組んでいく



小倉議員

【議員】

児童虐待に対する、市の見解は。

【保健福祉部長】

虐待への対応は、早期発見、早期対応が重要である。児童相談所や警察などの関係機関と連携を密にするとともに、広報紙等によって市民へ周知、喚起することが重要と考える。

【議員】

千葉県野田市の事件を受けて本市で特別に行ったことはあるのか。

【教育長】

小中学校に対しては、学校生活アンケートや教育相談で得た情報について、秘密保持を徹底すること、また、児童生徒の変容を見逃さないよう児童生徒に寄り添い、注意深く観察したり、コミュニケーションをとったりすることに指導助言を行った。虐待の疑いが見られた場合、担任等が一人で抱え込まずに他の教師や管理職に報告し、複数の目で確

認すると同時に、直ちに児童相談所に通告し、指導助言を受けるということで共通理解を図っている。

【保健福祉部長】

文科科学省、厚生労働省から、学校、保育施設において2月1日以降登園していない子の確認通知があり、注意喚起をしながら事案の確認を行った。また、自宅保育をしている方には子育て相談や赤ちゃん訪問、乳幼児健診の時や、健診未受診者への訪問等できっかり確認するよう、注意徹底をした。



他の質問

▼放課後児童クラブ

▼スピカビル

▼LGBT

▼ふるさと納税

西部メディカルセンターの 看護師確保の手だては



三浦議員

人材確保プロジェクトを始動した

【議員】 医師・看護師確保の達成状況はどうか。

【中核病院整備部長】 常勤医は1月に整形外科医1名、2月に小児科医1名が赴任し、27名となり、4月にも増員が予定されている。常勤看護師は、現在142名。平成31年度の入院患者予測数175名に対し、産休・育休で不足する10名分を含めて165名必要となり、現在、23名の不足となっている。

【議員】 看護師が足りない入院患者の受け入れが十分果たせない。確保の手だてについては、県や看護学校、大学との連携が必要ではないか。

【中核病院整備部長】 通常の募集のほか、この1月に関係各部の横断的な職員による人材確保プロジェクトを始動させた。看護学生実習の受け入れのほか、今まで訪問できていな

- ▼ 他 の 質 問
- ▼ 国保税の軽減化策
- ▼ あけの元気館の効果
- ▼ 就農者育成支援システムの構築
- ▼ 地産地消・食育推進条例の制定



かつた看護師養成学校への訪問など、草の根的な広報活動を実施する。また、今年度より県就学資金の対象になった。そのほか、県からの職員派遣も要望している。

【議員】 救急受け入れを断われた、という話があるが実情はどうか。

【中核病院整備部長】 毎朝関係者で会議をして、入院可能なベッド数まで受け入れているが、断わる場合もある。救急隊と担当医が最善の選択を取るようになっている。



三澤議員

教師業務アシスタントの導入を

導入について検討していきたい

【議員】 国は、『ソサエティ5.0』という、ビッグデータ、AI、IOT、ロボット等を駆使した人と物をつなげる構想を発表した。これらを牽引していくのが次代を担う子供たちであり、その子供たちの教育を担うのが、教職員である。現在、教育現場には授業や部活動以外に、授業の準備、採点・添削、生徒や保護者からの相談対応、生徒指導、事務作業などを勤務時間外に行っている。本市の教職員の業務の現状と業務削減について伺いたい。

【教育長】 業務の中心は授業であり、放課後は、指導案の作成、教材研究、教材・教具の作成、打ち合わせや生徒指導、保護者との面談、家庭訪問など勤務時間外での業務が多くなっている。その削減対策として校務支援システムの

- ▼ 他 の 質 問
- ▼ 筑西市におけるICT・AI活用について



活用や教材のデジタル化、各種研究会や学校行事の見直しなど、学校と教育委員会が連携することで教職員の業務削減を推進していきたい。

【議員】 教職員の負担軽減は、業務の見直しとは別に、市独自の教師業務アシスタントの導入をどのように考えているのか。

【教育長】 国の動向、あるいは他の市町村の様子等、情報を精査しながら、導入について検討していきたい。

学校給食費無償化に向けての今後の予定は



鈴木議員

財務状況は厳しいが、財源確保について
関係部署と協議していききたい

【議員】

学校給食費は平成30年度から補助額を月1,300円に増額し、無償化に向けてスタートした。しかし、31年度に更なる増額は無い。かたや新たな公共施設包括管理業務委託では5年間で9億円以上の契約をし、施設管理にそれほどの予算を使うことには疑問も感じる。給食費無償化に向けての今後の予定は。

【教育部長】

平成30年度に月額1,000円を加算し、1,300円を補助し、保護者の負担軽減を図っている。無償化の実現には新たな財源確保が必要だが、非常に厳しい財政状況にあり、事務事業の優先順位の精査、見直しなどを含め、関係部署と協議していききたい。

【市長】

市全体の補助額は平成30年度以前では約2,600万円、30年度は約8,400万円となつてきている。無償化については「近い将来」という言葉を使っているが、10年も先とは考えていない。財政面で確保できれば、すぐにも実施したいが、今のところ難しい。無償化に向けて頑張りたい。



他の質問

- ▼ 西部メデイカルセンター
- ▼ 特定空き家問題
- ▼ 郷土歴史資料の保管
- ▼ ハザードマップと対策
- ▼ 台東区との交流

市民からの要望等を議会から 西部メデイカルセンターに届ける方法は



小島議員

設立団体として、市の地域医療を所管する部署へ
お願いしたい

【議員】

西部メデイカルセンターの財務資料、評価委員会での評価書は議会に提供されるのか。

【中核病院整備部長】

地方独立行政法人法に設立団体として市及び議会の関与が明示されており、これに基づき法人は財務資料を公告、閲覧に供する義務があり、また評価委員会の会議資料や会議録は、従来から市のホームページに公表している。

【議員】

これに対し議会での質疑はできるのか。

【中核病院整備部長】

報告案件に意見をいただくことは可能である。

【議員】

病院運営や経営の問題は、理事長に質問することが適当と思うが、理事長や病院長の議会答弁はできるのか。

【中核病院整備部長】

地方自治法の規定では、議会への出席義務は生じない。

【議員】

駐車場や直行バスなどの市民要望を議会から西部メデイカルセンターに届ける方法は。

【中核病院整備部長】

市は中期目標での指示や業務実績評価に基づく改善命令など、必要な措置をとることができる。また、市に対する要望はこれまでどおり地域医療を所管する部署へお願いしたい。なお、法人では随時改善に取り組んでおり、病院運営に関するご意見、ご要望は、来院時に意見箱へ投書いただくか、西部メデイカルセンター総務課にお申しつけを。



西部メデイカルセンター

他の質問

- ▼ 公共施設包括管理業務委託
- ▼ 償却資産の申告

危険な空き家があるのに 市の対応が見えない



尾木議員

指導・勧告のほか、注意看板設置も検討する

【議員】 地域を歩くと空き家が何件も目につく。人口が減っている状況では、ますます空き家が増え続けると思う。市が把握している空き家の状況は。

【市民環境部長】 平成31年2月1日現在で、1,806件である。

【議員】 特定空家の件数は。

【市民環境部長】 6件あったが、うち4件は家屋解体等により改善され、現在2件である。

【議員】 特定空家の件数が非常に少なく感じる。もっと多いのではないか。

【市民環境部長】 特定空家の判断基準があり、現地確認を行い周辺環境に及ぼす影響を踏まえて判断する。周辺に悪影響を及ぼす可能性が低い場合は、認定していない。その場合でも、放っておくわけではなく、所有者に適正管理をお願いし

- 他の質問
- ▼西部メディアカルセンター救急患者受け入れ
 - ▼おとな救急電話相談
 - ▼大人の風疹対策
 - ▼ヘルプマーク
 - ▼運転免許自主返納事業
 - ▼皇位継承に伴う保育園・幼稚園休日開園対応



ている。

【議員】 危険な空き家があるのに、市の対応が見えない。注意を促す看板等もない。早急に設置してはどうか。

【市民環境部長】 危険な空き家に対しては、指導・勧告を行っている。反応がない場合は、更なる措置を進めていく。危険を知らせる看板等については、関係機関と調整を図り、設置に努めたい。

平成30年度末 454億円の借金は どう返済していくのか



真次議員

年間45億円程度を上回らない範囲で
借り入れ期間の調整、平準化を図り返済していく

【議員】 本市の財政事情を市民に分かりやすく説明願いたい。

【企画部長】 平成30年度の現在の一般会計予算額は、前年度の繰り越しを含めて508億円である。そのうち一般家庭の給料に相当する市税や地方交付税は、約300億円。次に、一般家庭にはないが国や県からの助成金が87億円。そして、貯金の取り崩しに相当する基金繰入金は、17億円。また、住宅ローンなど借入金に相当する市債は、93億円。その他区分できない雑収入が、11億円となっている。次に歳出は、医療や福祉衛生などの生活費が、219億円。住宅の設備などの建設費用が71億円。教育に関する費用が81億円。ローン返済に相当する公債費が44億円。なお、一般家庭の貯金に相当する基金の平成30年度末残高は83億円と見込

- 他の質問
- ▼成人式
 - ▼インフルエンザ予防接種
 - ▼成人健康診査時におけるピロリ菌検査



んでいる。

【議員】 平成30年度1月末の借金は幾らか。

【企画部長】 平成30年度末で454億円を見込んでいます。

【議員】 今後、この借金をどう返済していくのか。

【企画部長】 年間45億円程度を上回らない範囲で借り入れの期間を調整して平準化を図る。454億円の中には合併特例債や臨時財政対策債など交付税措置の優遇制度があるものも含まれているので、一般財源からの負担は、それほど心配する額にはならないと考える。

市内への大型商業施設誘致の可能性は



田中議員

可能性を関係部局と協議検討したい

【議員】

人口減少対策として、大型商業施設の誘致をどのように考えているのか。

【市長】

人口10万人死守に向けた職員アンケートの中に、大型商業施設が必要という意見があった。人口減少を防ぐためにも、大型商業施設を誘致できればと思っている。

【議員】

商圏を考えると近隣市をいれて28万人近くになる。しかし、開発をするにも田畑が多く、農振農用地の除外が必要になる。民間企業であるため進出となると難しい部分もある。誘致を図るうえで、先事例では、土地区画整理事業など、大型商業施設の受け入れを前提とした事業を実施している。本市での事業実施の可能性は。

【土木部長】

現在、市の都市計画マ

スタープランにおいて、複合産業系の検討地区に位置づけている下館

駅南地区や玉戸駅周辺地区は、市街化調整区域であり、開発が規制されている。開発をするには、農振農用地の除外や国県との協議が必要になる。住民の意向を尊重し、民間活力の導入を模索しながら事業実施の可能性を関係部局と協議検討していきたい。



他の質問

▼西部メディアカルセンターの看護師不足

▼筑西診療所

▼予防医療

交通弱者へのタクシー助成を

平成31年4月1日以降の免許返納者に
1万円分のタクシー助成券を1回限り交付する



稲川議員

【議員】

市内の交通網を検証したとき、地域内運行バスや広域連携バスで網羅されていない空白地域を、市はどのように捉えているのか。

【企画部長】

市内全域でデマンドタクシーのり愛くんを運行させることにより、空白地域はないと考えている。

【議員】

デマンドタクシーのり愛くん利用者の世代別状況は。

【企画部長】

大きく分けると、10代30代が7%、40代50代が8%、60歳以上が全体の85%を占める。

【議員】

やはり高齢者の利用が多い。デマンドタクシーは利用者の年齢制限はないが、市内限りという区域の制限や、土日の運行はしない、利用時間の制限等があるので不便である。そこで、交通弱者へタクシー券の助成を行うこ

とにより、自由にタクシーを利用できるようになると考えるがいかか。

【企画部長】

平成31年度から免許返納者を対象に、既存の公共交通機関の利用に慣れるまで、一時的な助成として、1回につき500円券1枚の利用で20枚、1万円分を交付し、タクシー利用料の助けにしていきたいと考えている。



他の質問

▼西部メディアカルセンター

▼外国人労働者

▼子供の虐待

▼子供の安心・安全

新年度予算に多目的運動場の予算が計上されていないのはなぜか



調査中であるため、その結果を踏まえて次のステップを検討していく

【議員】
昨年、多目的運動場（検討のための調査委託）の予算がついたが、新年度に関連する予算がないのはなぜか。

【教育部長】

まだ具体的な調査結果が出ていない。今後は結果を踏まえ、市が目指すべき多目的運動場、あるいは多目的施設の候補地・機能・規模・市場性、事業手法などを検証し、基本構想など次のステップを検討していく。

【議員】

前回の答弁で、施設の一部に飲料水等を貯留するなど、防災・災害に備えた要素を持つ設備にしたいとのことだったが、考えに変わりはないか。

【市長】

例えば野球場とした場合、グラウンドの3分の1ぐらいに地下をつくり、水を蓄えて、災害時にはその水を浄化して利用する。あるいは、

は、運動場の中に仮設住宅をつくるなど単なる運動場ではなく、災害時にも活用できる施設にしていきたい。

【議員】

整備費は、市単独、合併特例債を使っても大変ハードルの高い計画だと思う。国に「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の予算が7兆円ある。国に対して予算獲得のアプローチは考えているのか。

【市長】

市の財源だけではもちろんできない。国とのつながりも重要であり、しっかりと考えていきたい。



他の質問
ふるさと納税

下妻市との新たな広域連携バスの運行を



路線の検討を進めていきたい

【議員】

新たな広域連携バスについて、昨年6月の議会で質問した際に、可能性を模索していくと答弁があった。近隣の自治体と連携した新たな広域連携バスは、どのような進捗状況か。

【企画部長】

新たな広域連携バスとして、下妻市と協議を進めている。平成19年まで、民間のバス路線が運行されており、可能性がある。まずは、来年度予算に両市共同で需要調査を行うための予算を計上した。今後は、調査を行い、方針を協議したい。

【議員】

需要調査というのは具体的にどのような調査か。また、下妻市での予算化は。

【企画部長】

地域の特性、住民数、移動手段、通勤手段などの住民アンケートを実施し、その結果を踏まえ導入計画の素案

などの協議を行っている。予算は下妻市でも同額を計上している。

【議員】

実現に向けて、どのような形で政策にしていけるのか。

【市長】

現在は未定だが、結城市、川島、船玉、関本、黒駒、砂沼、下妻駅を結ぶ路線が考えられる。下妻駅まで行けば、つくば行きのバスと連絡が可能となる。今後、結城市とも協議し、路線の検討を進めていきたい。



他の質問
公共交通施策
つくば市との広域連携バス

いじめが起きないように対応は



教職員が寄り添い、いじめの兆候を見逃さないとともに
いじめの子の心の背景を捉え、健全な成長につなげたい

【議員】
いじめが起きないように
な対応、また何か対策
を行っているのか。

【教育長】

教職員が常に児童生徒
に寄り添って観察し、
いじめの兆候を見逃さ
ないとともに定期的に
児童生徒からアンケー
ト調査を行うなど、初
期の段階で捉えるとい
うことを進めている。
また、学級活動や道
徳の授業を通して、い
じめは絶対に許されな
い、弱い者いじめは人
間として恥ずかしいこ
とだという心情に迫る
指導を行うとともに、
各学校でいじめに対す
るスローガンづくりな
ど、いじめの根絶を目
指している。

【議員】
今まで取り組んでこな
かったいじめる側のカ
ウンセリングをしてい
かなければ、いじめは
減らないのではないか
と思うが。

【教育長】

どうしていじめをして
しまうのか、その心の
背景を捉えることが一
番大変なことであり、
またやらなくてはなら
ないことと考えている。
いじめの側の子は、仲
間に認められていると
か、自分は役立ってい
るという自己有用感を
持てるようにならない
と、いじめを繰り返し
てしまう。心の奥に触
れ、寄り添って健全な
成長につなげられるか
が、教育者の役割であ
り、使命であると思う。



- 他の質問
- 公共交通の整備
- 川島駅周辺の整備と
開発
- 窓口業務
- 幼児教育無償化

議会傍聴者アンケート結果（抜粋）

平成31年第1回定例会から、議会傍聴者のアンケートを始めましたので回答の一部をご紹介します。（詳細は、ホームページ <http://www.city.chikusei.lg.jp/> に掲載しています）

- ・回答人数
25人（男性9人、女性12人、無回答4人）
- ・年齢
20代1人、60代10人、70代13人、
80代以上1人
- ・お住まい
下館地区14人、関城地区5人、
明野地区1人、協和地区2人、無回答3人

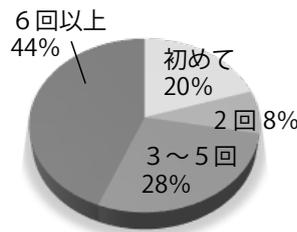
○傍聴の感想

- ・各議員が、多くの勉強を重ね熱心な質問を
されている姿に希望が持てます。
- ・話をもっと簡潔にまとめてすることも必要
なところが見られた。時間がもったいない。
- ・親身な意見があり良かった。
- ・近くで声が聞いて良かったです。

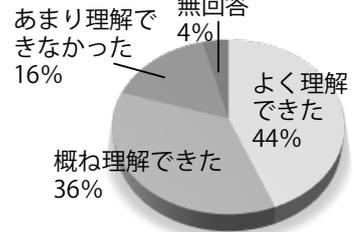
○その他、議会に対する意見

- ・市民が傍聴に来られる様に、考えてください。
- ・女性議員が少ないので、工夫をして女性議
員を増やす対策をお願いします。

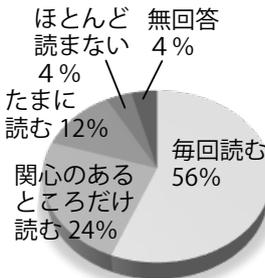
■議会の傍聴は 何回目ですか



■会議の内容は 理解できましたか



■「市議会だより」を 読んでいますか



■傍聴に来られた 理由は何ですか

